

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	通信会社（サー ビス担当）	客の様子	・携帯販売業務は番号ポータビリティの影響か販売が 少し良くなってきている。
	変わらない	一般小売店 〔鞆・袋物〕 （経営者）	来客数の動き	・年初は福袋や財布等が多少動いたが、それが落ち着 いてきたら、消費は相変わらず慎重である。
		スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・新規店舗を含めた全店舗計では3か月前と比べて売 上高が若干減少しているが、既存店ベースでは3か月 前の前年同月比と今月の前年同月比を比べると同様な 推移をしており、景気は変わらない。
		コンビニ（経営 者）	客の様子	・長期間の不景気で習慣になっているようで、ぜい沢 な買物をしないで必要な分を買っている客が多いよう にみえる。
		衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・ここ数か月、販売量、単価共に変化が無い。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・売上が前年より伸びた部門と落ち込んだ部門があ る。落ち込みは止まった感がある。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・飲酒運転の罰則強化から平日の地元客が少なく、来 客数は例年の10%減の状態が続いており、まだ回復の 兆しがみえない。
		観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・競合施設が急増しているの、前年同月比で微増に とどまる。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・施設利用者数は、3か月前の平成18年10月は前年同 月比で113.2%。今月は1月27日現在で110.2%と高い 伸びとなっている。入域観光客も前年同月比で増加し ているものと推測される。来園者は、一般団体、修学 旅行が中心である。
やや悪く なっている	一般小売店〔衣 料品・雑貨〕 （経営者）	販売量の動き	・売上高前年同月比98%とほぼ例年並みだが、3か月 前の10月の前年同月比と比較すると下がっている。	
	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・客単価は前年並みで推移しているが、来客数の前年 同月比が3か月前より1.5%減少しており、その分売 上も減少している。特に夕方の来客数の減少は顕著に 表れている。酒類を購入していた客の減少が目立つ。 飲酒取締り強化の影響が尾を引いていることも要因の 一つである。	
	観光型ホテル （営業担当）	販売量の動き	・団体旅行の受注量が減少している。	
悪く なっている	-	-	-	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	輸送業（営業・ 運営担当）	受注量や販売量 の動き	・取引先の内部改革に伴って、受注量が増加してい る。
	変わらない	通信業（営業担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・法人系ユーザーでネットワーク見直しに伴う回線受 注はあるものの、旧回線の増速やサービス変更がメイ ンで、新規回線増につながる案件は少ない。消費者向 け光インターネットサービスは、ADSLサービスと 比較しても家庭用インターネットの主流になりつつあ り、当社の光サービスの伸び率も上昇している。ただ し、商品自体の価格設定が低いため、売上増へのけん 引役にはなれない。
		コピー業（代表 者）	受注量や販売量 の動き	・印刷業では1月は1年の内で売上の悪い月である。 今年も例年どおりである。県市町村は社員の各課へ移 動や引継ぎの準備のため、印刷発注が後回しになりが ちであることが原因である。
	やや悪く なっている	食料品生産業 （管理部門）	受注量や販売量 の動き	・前年同月比で分析した結果、一部製品群で受注量が 減っている。その他に、円安と金利上昇の影響もある。
建設業（経営 者）		受注価格や販売 価格の動き	・受注量は変わらないが、受注価格が下落している。	

	悪く なっている	-	-	-
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良 く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・年間を通して何回かにわたるイベントへの派遣依頼や、既存ユーザーからの複数の追加依頼など確実に数字が上がっている。
		求人情報誌製作 会社(営業担 当)	採用者数の動き	・企業の求人の動きも活発になり、各社とも好調に採用者数を確保している。前年より良い動きである。
		学校[専門学 校](就職担 当)	求人数の動き	・在校生向けの求人はこれまで同様に増加しているが、既卒者向けの求人も昨年度同期に比較して増加している。新卒で補えない採用枠を既卒、第2新卒でカバーしたい企業の思わくが受け取れる。
		学校[大学] (就職担当)	求人数の動き	・観光客の入域者数が依然として増加している。また海外、あるいは本土の資本が投下されており、それに伴う求人数が増加している。北京オリンピック、上海万博を控えて旅行会社の求人対応も目立つ。更に、県内外のIT企業の求人数が、徐々に多くなってきている。
変わらない	-	-	-	
やや悪 く なっている	-	-	-	
悪く なっている	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・12月の有効求人倍率は0.49倍で8月から連続して減少している。有効求職者数に対する就職率は6.5%で9月から連続して減少している。また、前年同月比では0.03%ポイントの減少となっている。	